



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成 29 年 1 月 14 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

ヒラジ マケンコウフクシイソカイ
 団体名 平島健康福祉委員会 (HKF)
 所在地 [Redacted]
 連絡先 [Redacted]
 フリガナ カサキ ヨシヒデ
 代表者氏名 柿崎 由秀 [Redacted]

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	平島・元気で輝き事業
事業実施区域(小学校区)	平島学区
事業実施回数	新規 ・ <input checked="" type="radio"/> 継続 2回目 (28年度から)
課題	平島学区において今後さらに進むであろう少子高齢化の中で、高齢者が健康で自立した生活が送れるよう、自助・互助の考え方を理念に地域で支え合う仕組みを作っておく必要がある。このことは7年前に設立された平島小地域ケア会議において、長い間検討協議を重ねてきた結果、課題解決の一つの方法として平成28年度より本事業を導入したものである。29年度も引き続き継続して実施するものである。
事業の目的	平島学区に住む高齢者が少しでも安心して笑顔で過ごせる地域づくりを目指し、生活支援や集う場づくりなどの活動を通して、高齢者の健康と福祉に寄与することを目的としている。目標は一人でも多くの方が“元気で輝き”ながら、地域とつながり社会参加や活動が出来ることを願い、その環境を少しずつでも作っていくことである。

<p>事業の内容</p>	<p>ちょっとした困りごとをお手伝いする“生活支援サービス”の実施 既成の制度ではまかなえないようなちょっとした生活援助をHKFボランティアが有償ボランティア方式（100円チケット券1枚で約15分間）によりサービスを提供するシステム。</p> <p>① 寄合いの場づくりで2か所の“井戸端カフェ”の運営 井戸端カフェ東平島は第2土曜日、井戸端カフェ南古都は第4土曜日、いずれも10時～12時で開催。誰でも気軽に立ち寄り、談笑や体操、歌、ゲームなどを通して元気になってもらう。</p> <p>② 健康寿命を延ばすための“HKF研修会”（介護予防教室）の開催 健康維持のためのいろいろな視点からの学びの場であると同時に医療保険や介護保険など制度のことを理解するための場でもある。また心身の機能向上のための脳トレやストレッチ体操なども合わせて行っている。6月、9月、12月、3月の年4回平島コミュニティハウスで開催。</p> <p>③ “HKFニュース”の定期発行 地域イベントや耳より情報などを掲載したニュースを年4回全戸に配布。</p> <p>④ その他地域行事（安全安心ネットワーク祭、振興まつり、敬老会、老人クラブ 体力測定）での支援活動。</p> <p>⑤ 年4回開催されている平島小地域ケア会議の企画実施</p>
<p>期待される成果・目標</p>	<p>・各事業の推進により支え合いのまちづくりが出来れば、地域に住む子供から老人まで将来にわたっても安心して住める地域だと実感して住み続けてもらうことができる。また、コミュニティの促進と介護予防が図られることで、健康寿命を延ばすことができ結果として高齢者の皆さんが地域とつながりながら元気で社会参加や活動が継続できる。時間はかかるかも知れないが、この活動を続けて行くことによって自助・互助・共助の理念が地域に浸透することで、地域住民のつながりをさらに深めていくことができる。</p>
<p>企画などの工夫</p>	<p>・HKF研修会の開催については、平島コミュニティだけでの開催ではなく、単一町内会の公会堂へも出前研修を実施することで、学区全体の一人でも多くの方に参加してもらうようにする。</p> <p>・平島小地域ケア会議を通して、平島学区連合町内会及び平島学区安全安心ネットワークと密に連携をとりながら、地域住民の意見を広く吸い上げ、常に課題解決のための方法を模索しながら具体的行動に移していく。</p> <p>・上道学区へも情報を発信し、可能ならば情報交換の場を設けながら、本活動が良い意味でたたき台になって広がっていくようチャレンジしていきたいと考えている。</p>
<p>協働する団体等</p>	<p>団体名：平島学区小地域ケア会議 役割：健康福祉委員会が行う活動の内容について事前に協議し決定している。また実施後においても結果について共有し、課題があれば今後へ向けて話し合いを行い方向性を示唆してくれている。</p>

事業の 情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・つながる広場や市民の広場やマスメディアへの投稿による掲載。 ・地域センターや公民館への情報の提供と共有化。 ・定期的に HKF ニュースを全世帯に配布。 ・今後、平島型地域包括ケアシステムを構築することができれば、インターネット上でホームページを開設し情報を公開していきたい。
学区 地区 への 広がり	<p>活動の広がり：HKF が所属する平島安全安心ネットワーク内においては確実に広がりを見せているが詳細な課題の共有までは至っていない。また、学区内では HKF ニュースの全戸配布により活動の紹介などを含め情報提供を行っているが、住民レベルまではまだまだ認知不足であると思われる。成果を急ぐ必要はないので今後も地道な草の根活動を積み重ねていくつもりである。</p>
前年度 からの 見直し 拡充点	<p>今まで行ってきた事業はすべて継続して実施していく予定だが、併せて本事業の将来に向けてしっかりとした基盤づくりをする必要があるため以下の点を実施する予定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前研修会の実施：HKF 研修会の開催場所を平島コミュニティハウスだけではなく各町内会の集会場でも開催する。 ・井戸端カフェの対象者を拡大：高齢者だけではなく子供たちも含め誰でも参加できるようにする。 ・HKF 会員の拡大：各種団体で活動している方だけでなく、本事業に関心を持たれている個々の方へも積極的に声かけ活動を行う。10年先、20年先を考え、特に30代40代の方へは予約的声かけを行っていきたい。
次年度 以降の 予定	<p>①次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援サービスの地域住民への更なる啓蒙活動 ・生活支援サービスの提供を行う支援ボランティア要員の質の向上のための研修 ・新たな支援ボランティア要員の募集 ・新たな井戸端カフェの開設や既実施カフェでの開設日の拡大を検討 ・HKF ニュースの掲載内容及びフォーマットの改善 <p>②資金の確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金の確保：HKF ニュースに現在協賛していただいている企業の企画紹介を通して、更に賛同していただける企業の拡大を図る。 <p><input type="checkbox"/>次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>5年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</p> <p>資金確保の具体的な方策：可能な限り利用者が負担する会費で賄えるよう企画内容の工夫が必要だが、協賛企業もあと5社ほどは確保できるよう努力していく計画である。</p>

その他PRしたい点

本活動が近隣地域（上道学区）のモデルケースになることを願い、一步一步進めて参りたいと考えております。市当局も機会あるごとに本事業の活動現場に訪れていただき、アドバイスや叱咤激励をしていただければ大変有難く思います。

平成29年度・平島健康福祉委員会(HKF)活動予定

平成29年1月11日現在

月日	場所	内容
4/1~4/30	平島学区	生活支援サービスA班(古内チーム)
4月8日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(難波チーム)
4月28日	平島コミュニティ	第36回小地域ケア会議
4月22日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(難波チーム)・定例会
5/1~5/31	平島学区	生活支援サービスB班(水元チーム)
5月7日	平島小学校~パナソニック	安全安心ネットワーク祭の支援
5月13日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(古内チーム)
5月27日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(古内チーム)・定例会
		健康福祉ニュース5号発刊
6/1~6/30	平島学区	生活支援サービスC班(難波チーム)
6月3日	平島コミュニティ	第17回平島健康福祉研修会
6月10日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(水元チーム)
6月14日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(難波チーム)・定例会
7/1~7/31	平島学区	生活支援サービスA班(古内チーム)
7月8日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(難波チーム)
7月28日	平島コミュニティ	第37回小地域ケア会議
7月22日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(難波チーム)・定例会
		健康福祉ニュース6号発刊
8/1~8/31	平島学区	生活支援サービスB班(水元チーム)
8月12日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(古内チーム)
8月19日	平島小学校	平島振興まつりの支援
8月26日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(水元チーム)・定例会
9/1~9/30	平島学区	生活支援サービスC班(難波チーム)
9月2日	平島コミュニティ	第18回平島健康福祉研修会
9月9日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(水元チーム)
9/16?	平島小学校	敬老会の支援
9月23日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(難波チーム)・定例会
10/1~10/31	平島学区	生活支援サービスA班(古内チーム)
10月14日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(難波チーム)
10月27日	平島コミュニティ	第38回小地域ケア会議
10月28日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(古内チーム)・定例会
		健康福祉ニュース7号発刊
11/1~11/30	平島学区	生活支援サービスB班(水元チーム)
11月11日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(古内チーム)
11月25日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(水元チーム)・定例会
12/1~12/31	平島学区	生活支援サービスC班(難波チーム)
12月2日	平島コミュニティ	第19回平島健康福祉研修会
12月9日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(水元チーム)
12月23日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(難波チーム)・定例会
1/1~1/31	平島学区	生活支援サービスA班(古内チーム)
1月11日	旧木庭氏店舗	総会・新年会
1月13日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(難波チーム)
1月26日	平島コミュニティ	第39回小地域ケア会議
1月27日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(古内チーム)・定例会
		健康福祉ニュース8号発刊
2/1~2/28	平島学区	生活支援サービスB班(水元チーム)
2月10日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(古内チーム)
2月24日	木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(水元チーム)・定例会
3/1~3/31	平島学区	生活支援サービスC班(難波チーム)
3月3日	平島コミュニティ	第20回平島健康福祉研修会
3月10日	さんさん平島	井戸端カフェ東平島(水元チーム)
3月24日	旧木庭氏店舗	井戸端カフェ南古都(難波チーム)・総会

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
岡山市補助金	192000	92500	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	7000	10000	
参加者負担金	15500	30000	サービスチケット代など
協賛金	10500	37500	平島振興事業推進協議会
寄付、他収入	15000	15000	健康福祉ニュース広告協賛
計	240000	185000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算	予 算	備 考
印刷製本費	15000	12000	HKF ニュース(4回)ポスター、研修会資料など
通信運搬費	120000	70000	電話利用料金、HKF ニュースの郵送代
謝礼金	9000	12000	研修会講師謝礼(4回)
食料費	36000	36000	研修会(4回)井戸端カフェ(26回)水分補給用
会場使用料	8000	10000	平島コミュニティ(4回分)井戸端カフェ(26回分)
消耗品費	34000	20000	支援員のユニフォーム代(10名分)
保険料	15000	20000	支援員ボランティア保険
その他事務費	3000	5000	身分証明証、チケット券製作費
予備費	0	0	
計	240000	185000	

--	--	--	--

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

--

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

平成29年1月14日